2026 年 11 月 18 日
東京六稜倶楽部
96 期　中尾　健也

【講演タイトル：円安・インフレに負けない資産運用を考える～継続を力に～】

講演者からのメッセージ：昨今話題となる円安・インフレに対応するための資産運用を考える際に、役立つと思われるアイデアや枠組みをご案内し、皆様それぞれの事情に応じた資産運用の参考にしていただけたら、と考えます。

【講演概要】

1. **インフレと各資産の特性**：インフレとは、お金の実質価値が下がることです。その要因は、大きく 3 つの類型に分けられます。これに対応するための資産として、過去の株式、債券、為替市場などの動きを振り返り、各資産のそれぞれの強みと弱みを整理します。

2. **利回りについて**：「利回り」には、預金・国債の利回り、株式の配当利回り、投資信託の分配金利回りなど種類があり、水準だけでなく性質も大きく異なります。配当や分配は、将来の支払いが約束されたものではありません。利回りの数字だけでなく、その原資やコストにも目を向けることが必要なことを説明します。

3. **運用スタイルについて**：インデックスファンドとアクティブ型ファンドの違いと、その特徴についてお話しします。

4. **個人投資家と機関投資家の違い**：機関投資家の強みと、決算期ごとの損益によって運用が制約される点などをお話しし、その比較で個人投資家の強みと弱みに触れます。

5. **分散投資とドルコスト平均法**：資産分散、銘柄分散、時間分散の三つの層での分散投資の考え方をお話しします。積立投資の想定事例を使って、ドルコスト平均法の効果を確認します。

6. **自らの事情を勘案した資産運用を考える**：資産残高、年齢、目標リターン、許容できるリスク、損失へのメンタル耐性などを整理したうえで、個々人の資産配分を考える枠組みをご案内します。また、複利効果を示す「72 の法則」を紹介します。

投資の際に気を付けるポイントとして、「あ・ゆ・み」（あせらず・ゆとりをもって・みずからの事情に応じて）を提唱します。

7. **資産配分最適化とシミュレーションの事例**： お時間が許せば、2000 年以降と 2012 年以降の 2 つの期間の月次データで、最適な資産配分（効率的フロンティア）を試したものをお示しし、過去に当てはめた場合に、円ベースの資産額がどのように変化するかを比較して、説明したいと思います。

以 上

本講演は個人的見解に基づくものであり、特定の金融商品を推奨するものでも、投資成果を保証するものでもありません。投資判断はご自身の責任で行ってください。